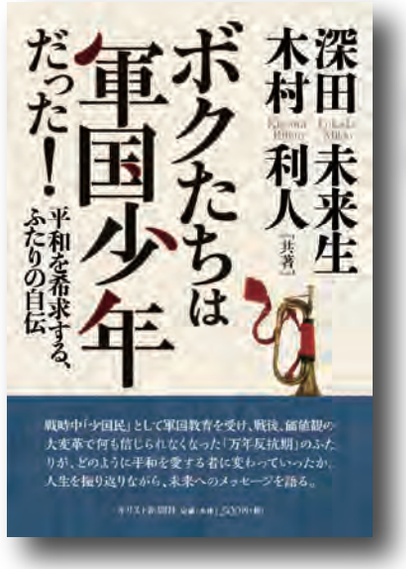

ボクたちは軍国少年だった！

平和を希求する、ふたりの自伝

同志社大学名誉教授　早稲田大学大学名誉教授
深田未来生、木村利人◉共著

戦時中「少国民」として軍事教育を受け、戦後、価値観の大変革で何も信じられなくなった「万年反抗期」のふたりが、どのように平和を愛する者に変わっていったか。人生を振り返りながら、未来へのメッセージを語る。

私の願いは志を分かち会える人々を求め続ける事です。既に知っていて目に見える「同志」だけでなく、未知で、ことによると生涯顔と顔とを合わせて出会うことがないかもしれない「同志」と心を共にして真の平和の実現のために努める仲間が増えることです。

――――――――――深田未来生

人生の新しい道を切り拓くにあたって、金なく、地位なく、身分なく、世界の何処で、どのように生きようとも、イエス・キリストに従って生きるという「決意」があれば、必ず必要なものは与えられ、道は開けると確信していたのだ。

――――――――――木村利人

【著者】深田未来生（ふかだ・みきお）
1933年アメリカで生まれる。4歳で帰国後、自由学園で高校1年まで学ぶ。その後、渡米し高校を卒業。1955年ベーカー大学在学中に召集令状を受け陸軍に入隊。除隊後、ボストン大学神学部、クレアモント神学大学院に学ぶ。1960年アメリカ合同メソジスト教会宣教師として夫婦で来日。西陣労働センター館長を勤め、同志社大学神学部で教育に携わる。同志社大学名誉教授。（牧会学博士）

【著者】木村利人（きむら・りひと）
1934年東京で生まれる。早稲田大学第一法学部卒、同大学院法学研究科博士課程修了後、チュラロンコン大学、サイゴン大学、ジュネーブ大学などで教鞭をとり、世界教会協議会エキュメニカル研究所副所長、ハーバード大学客員研究員、ジョージタウン大学ケネディ倫理研究所アジア研究部長、早稲田大学人間科学部教授、恵泉女学園大学学長などで研究、教育に携わる。日本生命倫理学会会長、厚生省厚生科学審議会委員、東京都病院倫理委員会委員長などを歴任。早稲田大学名誉教授。（博士・人間科学）

四六判・並製・182頁、定価1870円（10%税込）　ISBN978-4-87395-797-5　C0016 ¥1700E（日キ販）